

- 平成20年度 一般会計補正予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第15号

平成20年10月20日



### うなずける案山子さん

何だか今の農村を表現しているような案山子さん、一体どこを見つめているのだろうか。仕入れる資材は高くなったのに一生懸命作ったお米は安く叩かれ、稲は猪に荒らされる始末だから、小さな農家は「ハア～・・・」とため息も出ますよね。「農は国の根幹」のお題目はよく聞きますが、なんとも実感できません。飯南議会は私たち地方の生活者の声をもっと強く、大きく中央に届け続けていきます。

# 農は國の基

生産者 消費者連携し 農の再構築を

あるお年寄りから  
「百姓をやめたら、年金が余り始めた。」と聞きました。  
過去一年間の国内における農産物価格は  
ほとんどのものが下落しており、逆に農業資材は  
例外なく値上がり、または高騰したようです。

食品加工メーカーは、コスト上昇を理由に相次いで値上げを行いました  
農産物に対するコスト上昇分の販売価格への転嫁は  
消費者の理解が得られないという理由で、放置された。  
いや逆に下がったというのが現状です。

政府は十年後には食料自給率を  
五十パーセントにするという目標を掲げました。  
生産費が販売価格を上回る状況の中で  
十年先を展望できる農家は存在するのでしょうか。

農・漁業合わせても、従事者のうち  
六十五歳を越える人が六割を占める現状の中  
今以上の生産力を維持することは可能なのでしょうか。

食料の安全性が注目され、GAPへの取り組みがなされようとしています。  
反面、食の安全を脅かす事件は後を絶ちません。  
農業者が食の安全安心への努力で築いた信頼は  
一部の悪質な商人の利益至上主義のために損なわれています。

農業者の思いを込めた食料を  
そのまま消費者へ届けるには、直売しかないのが現状です。  
この方法での販売量には限界があります。  
複雑化した流通システムには悪意が立ち入る隙が存在するかもしれません。

生産者は生きがいをもって、ものづくりに専念し  
消費者は安心し、感謝して食べることの出来る仕組みを  
再構築する時期が来ているのではないのでしょうか。

## 議員発議

請願・陳情の採択に伴い、国政に対し飯南町の公益に関する事件について、国会又は関係行政庁に対し、議会の権限として、意見書の提出を議員発議により、4件を全会一致で採択し、関係機関へ提出しました。

### ○ 発議第9号 「国の社会保障費削減方針撤回」を求める意見書

療養病床の削減、保険で給付されるリハビリテーションの日数制限、後期高齢者医療制度の創設など、医療費抑制策は医療崩壊を招いています。  
介護報酬は度々引き下げられ、施設等で働く人たちの待遇が低下し、担い手の減少を招いています。  
障害者自立支援法の実施や社会保護の切り下げなど、福祉にも大ナタが振るわれています。  
これ以上の社会保障費の削減は限界であり、国に対し見直しを求めるものです。

### ○ 発議第10号 燃料・肥料・生産資材等の価格高騰に関する意見書

燃料・肥料・生産資材の価格高騰は農業者の経営努力の及ぶところではなく、個人経営農家はもとより、大規模農家、集落営農組織の経済は危機的状況となっています。  
農業者の高齢化が加速する中、現在の生産力を維持することは困難であり、食料自給率向上のためには国の強力な支援が不可欠です。  
食料安全保障の確立のため、流通を含めた農業政策の抜本的見直しと、農業者への強力な支援を求めるものです。

### ○ 発議第11号 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

労働環境の大きな変化の波は、新たな貧困と労働の商品化を生み、障害を抱える人々や社会とのつながりが作れない若者など、働けない人々の増大は地域課題となっています。  
協同労働の協同組合は、市民事業による市民主体のまちづくりを創造するものであり、働くこと・生きることの困難を抱える人々が、社会連帯の中で仕事をおこし、社会に参加する道を開くものです。  
社会の実情を踏まえ、課題解決の有力な制度として、「協同労働の協同組合法」の制定を求めるものです。

### ○ 発議第12号 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月をもって失効しますが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことが重要です。  
引続き、総合的な過疎対策を充実強化するため、新たな過疎対策法の制定を求めるものです。

9月定例会で可決された主な議案は次のとおりです

9月定例会は、9月9日から9月19日までの11日間の日程で開きました。

**認 定** 平成十九年度飯南町各会計歳入歳出決算認定について一件

**条例関係** 飯南町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例など八件

**予 算** 平成二十年度飯南町一般会計補正予算(第三号)など五件

**その他** 飯南町過疎地域自立促進計画の変更についてなど三件

**議員発議** 「国の社会保障費削減方針撤回」を求める意見書の提出についてなど四件

平成20年度 一般会計補正予算は町債の繰上げ償還金など

4億1,211万円増額

	各 会 計	補正予算	予算総額
	一 般 会 計	412,111千円	6,451,678千円
特別会計	国民健康保険事業	△17,462千円	722,915千円
	簡易水道事業	28,944千円	378,225千円
	下水道事業	12,089千円	443,295千円

## 請願

(請願者)

松江市大正町四四二一六

島根県社会保険推進協議会

会 長 池 淵 栄 助

紹介議員 櫻 井 秀 憲

紹介議員 伊 藤 好 晴

(内 容)

「国の社会保障費削減方針撤回」の意見書採択を求める請願

(審査委員会)

総務厚生常任委員会

(審査結果)

採 択

## 陳情

(陳情者)

頓原集落営農組織連絡協議会

会 長 渡 部 國 雄

赤来集落営農組織連絡協議会

会 長 松 田 栄 次

赤来農作業受託協議会

会 長 上 田 征 吾

(内 容)

燃料・肥料・生産資材等の価格高騰に対する陳情

(審査委員会)

教育経済常任委員会

(審査結果)

採 択

(陳情者)

松江市御手船場町五五七番地七

島根県労働者福祉協議会

会 長 大 崎 康 弘

(内 容)

「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情

(審査委員会)

総務厚生常任委員会

(審査結果)

採 択

## 決算審査特別委員会を設置

平成十九年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

委員長 永 井 眞 一

副委員長 石 橋 宏 郎

委員 伊 藤 好 晴

委員 安 部 正 一

委員 石 藤 一 晴

委員 島 正 一



議会風景

### Q 次期町長の構想は A 後期計画を基本

若林達治議員

町長は六月議会で、来年一月執行予定の町長選への出馬を表明されました。次期町長に選ばれた場合どのような視点で行政執行していくのか。

山崎英樹町長

町民の皆様への支持が得られるならば、まず財政規律を保ち、行財政改革を進めていきます。

今後は人口減少を食い止めるため、イターン・Uターン者などの年間目標を定め、取り組みます。

また、地域経済の活性化への取り組みや、後期基本計画につなぐ大切な時期であり「いのち彩る里飯南町」に向け、町づくりの先頭に立って努力していきます。



### Q 町有林の有効活用を A 活用に努力

若林議員

町有林は十一箇所約一、二五〇ヘクタールがあり、収入につながる貴重な財産です。

将来に備え、町有林を各団地ごとに立木の評価調査を行い、利用間伐など財政に役立つよう年次計画を立て、有効に活用すべきです。

山崎町長

今後は、除間伐が主体となり、美しい里山環境の保全、CO2削減の観点からも整備は必要です。また、計画期到来のには評価を行い、売却など検討して有効活用に努めます。

### Q 松江大橋川改修の早期着手を A 機会ごとに要望

永井章議員

志津見ダム完成まで二年あまりとなったが、同時竣工であった下流の松江大橋川の改修は大幅に遅れています。ダム移転者の心情を考えると、誠に遺憾と考えます。

早期着手に向け、強力に県や国へ要望すべきです。

山崎英樹町長

建設に同意された経過を考えると、一日も早い完成が必要です。

七月、松江市から前向きな発言もあっておりますが、飯南町としては三点セット完成をもって事業の完了との認識なので、機会あるごとに要望しています。



# 9月定例会 町政を問う 一般質問

### Q 農家に緊急支援の考えは A 生産費の低減化に支援

瀧尻行雄議員

農業生産額が四年連続で減少し、営農組合でも農業関連資材の高騰により収支は悪化の一途をたどっており、農家の苦悩は濃くなるばかりです。

このまま放置すれば生産意欲の減退、離農などが懸念されます。経営安定のため緊急的所得支援をすることを考えます。



山崎英樹町長

農業所得確保対策、適正施肥のための土壌診断の推進、価格補填などの緊急支援策など、政府、関係機関へ強く要望しました。

今の状況は長期化が想定されており、生産方式を低コスト化する必要がある、ここに支援をするべきと考えます。

国はこの観点に立つて補正予算を編成しており、不足があれば町独自の支援を考えます。



無農薬米の刈り取り

### Q 和牛増頭対策に組織力を A システムとして確立

瀧尻議員

和牛改良組合では、増頭運動の展開、研修会の実施、受胎率向上対策、改良対策の推進と、きめ細かく事業が推進されています。

しかし、高齢化により、技術はあるが体力はついていない心配があります。集落営農組織に遊休牛舎や遊休ハウスを利用し、土地利活用型農業につなげ、組



町内で開催された畜産共進会

### Q 農産物販売を行政の責任で A 販路拡大に努力

瀧尻議員

農家が生産し、自ら販売しなければ収入につながらない時代が来ています。

販売という部分こそ行政の責任で充実させるべきであり、継続的安定的収入が得られるよう、材木、米、施設園芸、畜産の販売部門を強固にする動きを求めるとともに、農家への連携と指導を強化し、マーケット開発を急ぐ考えは。

山崎町長

商工業品を含めた本町の産物の拡販を目的として、里山コミッションを立ち上げました。今後、産物の紹介、販売を行うホームページの立ち上げなど行い、販売の窓口を広げます。

販路拡大に合わせ、産直市等に一定量の確保が課題となっている面もあり、生産者の育成も同時に行う必要があります。

### Q 残事業の実現を A 要望を続ける

永井議員

志津見ダム湖周辺整備事業は、地元関係組織から意見聴取のうえ、残事業については早期実現のため国や県に要望されたい。

山崎町長

地元関係組織と協議・連携して関係機関と調整を進めています。



進む志津見ダム工事

### Q 保育所は自治体運営で

### A 指定管理での運営が望ましい



桜ヶ台保育所



伊藤好晴議員

地域の子育てに自治体として役割を果たし、今後の町づくりを生かすことが保育所に課せられた仕事です。民営化は自治体の責任放棄につながります。

財政問題や国の方針で民営化を進め、一部を指定管理に移すのは、直営と指定管理が混在し、保育所間で格差を生み、定住対策に支障をきたすのでは。

### 山崎英樹町長

現在四保育所一六〇名を、正規職員一三名、臨時一一名の保育士で保育を行っておりますが、将来にわたり適切な保育を行う体制としては、指定管理による運営が一番望ましいと考え、細部について詰めていきます。

### Q 後期高齢者医療制度の周知と介護保険負担軽減を

### A 機会をとらえて周知し、保険料の抑制に努力

### 伊藤議員

十月から扶養家族保険料がなくなり、国民健康保険の被保険者が六五歳から七四歳だけの世帯主は、国保料が年金から天引きされます。保険料の口座振替による節税も可能であり周知すべきでは。

雲南広域連合が保有している介護保険基金の二〇年度見込み額は十六年度の三倍、三億七千万円です。基金を適正額まで引き下げ、被保険者の負担を軽減すべきでは。

### 山崎町長

後期高齢者医療制度は個人ごとに納付をすることで、このような状況が生まれませんでした。

口座振替により、結果的に世帯主の負担が軽減される場合があるということは知らせていないので今後機会をとらえて周知します。

介護保険基金が積み上がったのは事業の変更等事情があります。要介護者の実情を踏まえ、

必要なサービス基盤の整備など、基金の活用をしながら保険料の抑制に努めます。

### Q デジタルと同時にアナログ放送を

### A 双方向通信の利用を考えます

### 伊藤議員

政府は二〇一一年までにデジタル放送化をし、アナログ放送全廃の決定をしました。

当町では、セットトップボックスという機器を設置して、アナログテレビでも受信できる計画です。

デジタル電波はアナログに変換可能であり、並行して流すべきと考えます。

ケーブルテレビというシステムを生かす研究とインターネットの接続スピード向上を合わせ、一部事務組合によるケーブルテレビの

運営見直し問題も含めて検討が必要です。

### 山崎町長

ケーブルテレビでは、デジタル対応型に買い替えなくてもよい方式を検討中です。セットトップボックスを付けることで、双方向通信の利用を考えており、自分の見たい文字放送を見られるようになります。

雲南市とケーブルテレビの対応が異なっていますが一部事務組合での運営は、様々なメリットがあり継続します。

## 9月定例会 町政を問う 一般質問

### Q 肥料高騰対策に堆肥散布助成を

### A 出口での支援を検討

### 門眞一郎議員

米価下落に続き、原油価格、肥料、農薬等農業資材の相次ぐ値上げにより、農家経済は危機的状況です。

このようななか、堆肥という有効な資源の活用を促し、減肥、減農薬生産の普及に努め、経費の削減を図る必要があると考えます。

肥料価格高騰対策として、堆肥散布に対する助成の復活、並行して減肥、減農薬生産技術の普及、エコ農家認定者の拡大が急務であり、勉強会等、積極的な推進を図る必要があります。財源は遊休資産の売却も考えられ、早急な対策を講じる考えは。

### 山崎 英樹 町長

堆肥散布への助成金は平成一六年から三年間、堆肥を投入して土づくりを行う継続的な施用の呼び水として行いましたが、助成金がなくなると使用量が減少したため、現在は助成を考えていません。

堆肥を投入した水田としない水田で、出口で差別化した支援等、議論しています。勉強会の開催は、JA・関係者とともに機会を積極的に設けながら推進します。

遊休資産の売却による財源確保の考え方は大切なことだと思います。



### Q 米の直売に道を

### A 水田農業対策として検討

### 門眞議員

飯南町といえば米を連想させるPRが重要です。拡販に向けた提案をします。

二つの道の駅へ小型精米機を設置し、玄米を一キ口単位の量り売りで販売し、消費者は自分で精米機を利用して精米し持ち帰る販売方法。

小規模な精米施設を設置し、生産者が精米・包装を行い、道の駅や里山コミッションを通じて完売する方法。

微粉末加工が可能な小型製粉施設を設置して生産者が利用、米粉の生産・販売が行えるようにすることで、洋菓子類やパン等への利用を促し、新たな消費者の掘り起こしを行うものです。

消費者の裾野拡大が考えられ、早急に圏域のパイオニアとなることを提案します。

### 山崎町長

精米機を設置して量り売りを行う販売方法は消費者のニーズにあったものと考えます。どのような形で実施すべきか、課題も含め関係者と協議します。

小規模精米所の設置については、有効な手段とは思いますが、しっかりと計画や戦略が必要であり、JA・生産者・販売者等関係者と検討します。米粉については、水田農業の対策のひとつとして取り組むべきと思っています。

下来島地内でコシヒカリの刈り取り



米の検査 (赤来集荷所)





### Q 水田農業の生産構造改革を A 課題となる圃場分散を協議したい

長島正一議員

日本の食料自給率向上が叫ばれるなか、燃料・肥料等の大幅値上がりは農業経営を根底から揺るがす事態となっております。

今こそ、本町全域のブロック化による集団転作を行うなどの農業生産構造の根本的改善に取り組み、農地集積による経営コスト削減に努め、担い手(法人・団体・個人)の育成と経営の安定化を図るべきでは。

山崎英樹町長

本町の水田農業は非常に厳しい状況にさらされており、農業の再構築は喫緊の課題であり、本町の特徴を生かした取り組み指針をまとめたところでは。

町内全域でのブロックローテーションは、飯南町一農場として求めていくべき姿だと思います。

特に赤来地区は圃場分散が作業効率の上からも課題となっており、今後に向け関係者との話し合いを加速的に進めるための場を設けます。

### Q 農業の再構築への戦略は A PRと販売チャンネルの拡大で

長島議員

農業の振興に向けて様々な提案がされていますが、農産物市場価格は低迷が続く、具体的対策が求められています。

①米や米粉販売戦略には、精米や製粉施設の整備を。

②燃料・肥料高騰対策には、耕畜連携による堆肥の有効活用を。そのためにはエコ米生産拠点集落へのストック場所等の整備を。

③多品目生産への挑戦と販売戦略の構築を。

多品目生産は、高齢者・零細農家の得意とするところであり、都市への産直事業の推進等が有効では。

生産・加工・販売の一環体系は、裾野の広い産業を創出することができるのでは。

山崎町長

米の販売は、消費者の要求を満たす戦略としてGAPへの取り組みによる安全

で安心できるエコ米を基本と考えます。また、里山コミッションでのPRの推進と販売チャンネルの拡大は、農産物販売戦略の一つとして期待をしています。

施設整備は、計画戦略作りに向け検討します。

肥料高騰対策は、稲わらと堆肥の交換システムを構築

築します。

堆肥ストック等はエコ米生産の上からも必要であり検討します。

多品目への挑戦と販売については、多くの農産物が低迷するなか、着実に伸びており、伸ばさなくてはならない分野です。

しかし、高速道路開通後は、国道五四号の通行量減少が予想され、広島市内への販売拠点は有効な手段と考え、検討します。

## 9月定例会 町政を問う 一般質問



米の検査(赤来集荷所)

### Q ネット環境整備で人口増を A 通信速度と利便性を向上

難波伸一郎議員

食糧危機が叫ばれるなか、自給自足ができる田舎が改めて見直されています。

田園風景に加えて快適なインターネット環境整備は流入人口増加を期待できます。

現在は快適な状況とはいえ、高速回線の実現を。

山崎英樹町長

定住支援センターにはインターネットと携帯電話の通信環境に対する問い合わせが多数あります。

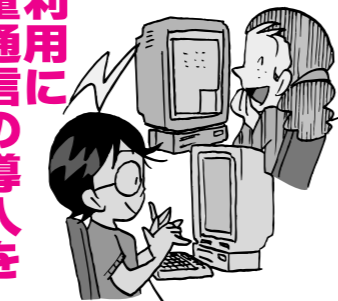
インターネット環境整備を行うことが定住促進にもつながると考えられます。

来年度飯南局のモデムを更新し、上位回線の容量を増加し、現行料金を基本とし通信速度と利便性の向上を図る計画としています。



### Q ケーブルテレビの独自展開を A 現在の形態を継続

難波議員



ケーブルテレビは、雲南夢ネットと接続していますが、発足当時と状況が変わり飯南町と雲南市に分かれ、考え方も大きく違い一緒にやるメリットはないと思われ

即刻提携は解除し、単独で次への展開をすべきでは。

山崎町長

一部事務組合のメリットを生かしながら主体性をもった通信対策を行って、今の形態を継続します。

### Q 遊休施設利用に 高速大容量通信の導入を A 今すぐの状況ではない

難波議員

遊休施設の旧校舎などに快適なネット回線を引き込み、スペースを貸すといった方法が有効との意見があります。

テレビのデジタル化に伴い、町内LANも見直しが必要と思われる、検討すべきでは。

山崎町長

高速大容量通信を求められるこの提案は、有効な手段ではあるが、いま整備する状況にはなく、今後の検討事項とした。

体育大会で活躍するケーブルテレビカメラ



コスモス祭り のイベントで、新米コシヒカリをおにぎり弁当販売した「志々地区家の光グループ」の皆さん

## 総務厚生常任委員会

### ■雲南広域連合規約の一部を変更。

雲南広域連合を構成する雲南市、奥出雲町、飯南町の議員定数がそれぞれの市、町で削減されたことに伴い、雲南広域連合規約の7条と8条の、広域連合議員の定数について、規約の一部を変更することを承認しました。

広域連合の議員定数は、16人⇒12人。

関係市町における議員定数は、

雲南市 9人⇒6人

奥出雲町 4人⇒3人

飯南町 3人⇒3人

### ■財産の取得を承認。

去る6月に、第2分団格納庫に貨物トラックが突入し、自動車ポンプ、積載車ともに大きな損害を受けました。

これらを更新するにあたり、予定価格700万円以上の財産取得については議会の議決が必要であり、協議の結果承認しました。

損害を受けた消防車格納庫(赤名)

## 教育経済常任委員会

### ■町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正。

町営住宅、特定公共賃貸住宅、頓原定住促進住宅、頓原施設園芸技能修得滞在施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正をしました。

この改正の要旨は、昨年春、東京都営住宅での暴力団員の発砲立てこもり事件を受け、関係機関からの要請もあり、公営住宅から暴力団員を排除できるようにし、このような事件を未然に防止するため、暴力団員の入居等に制限を加える条例の改正を承認しました。



杉戸団地

### ■「衣掛」に修繕工事

憩いの郷「衣掛」の雨漏りにより外壁修繕工事が必要となりました。経過年数を考えると設計又は、施工に問題があった可能性もあり、現地を調査し、確認のうえ承認しました。

## 9月定例会 町政を問う 一般質問



廃校となっている旧谷小学校

**Q** 旧谷小学校跡整備は協議がまとまれば速やかに

難波俊司議員

旧谷小学校校舎周辺整備については、地元自治振興会と行政との協議が進められています。

校舎内外の整備は十分行われていますが、老朽化が急速に進むのが必至であり早急な対応を望む声が大きくなっています。

旧校舎、その他施設に対する協議の状況と今後の方向についての考えは。

山崎英樹町長

現段階では、基本的に現校舎を改修し、有効活用を図ろうという方向で協議は進んでいます。

活用方法や今後の活動事業を十分に協議していただき計画がまとまれば、これまでの経緯から速やかに着手することが必要と考えます。

**Q** 農業資材高騰に早期対策を  
**A** 国の対策を見ながら

難波議員

食に対する安心安全の意識の高まりから国内産品を求める状況が広がるなか、燃料・資材・農薬等の高騰により、農家の負担は大きくなっています。とりわけ農地を集積された農業法人、集落営農組織、認定農家は大変です。

町として早急な支援対策が必要と考えるが。

山崎町長

現在の状況は、米価の低下も加えて非常に厳しい状況にあります。

こうしたなか、県町村会として要望事項をまとめ、国に対し強く要望をいたしました。国・JA全農ではいろいろな施策を打ち出され、国の補正予算として検討されています。

こうした内容を見ながら、町としての支援を行わなければと考えています。



今は少なくなったハデ干し(花栗)

難波議員  
本町の恵まれた自然のなかから生産された米を中心として農産物に自信を持って生産販売していかねばなりません。

山崎町長  
産直市の設置により少量多品目の生産による農業活性化は的を得た考え方で、今後に向けても必要と考えています。  
町としても支援すべきは支援します。

**Q** 産直市場実現を  
**A** 町も支援する



道の駅「赤来高原」

## 飯南町への想い

### 飯南町に住んで

飯南町角井 後長 恭弘

私は平成四年、高校を卒業し広島県の郵便局に就職しました。

十一年間向こうで働き、平成十五年四月、飯南町に帰って来ました。

子どもの頃からいづれは自分が後を継ぐ、と言う思いはありましたが、広島島の暮らしに慣れると、

先々帰ればいい、そう考えるようになりました。

ところが両親が病気になり、転勤願いを出すことに…考える余地なくUターンとなりました。

生まれ育った町とはいえず、久しぶりの実家での暮らしに妻といるんな抱え帰りました。

そんな心配をよそに地域の人、職場の人達は温かく迎え入れてくれました。

初めての顔、懐かしい顔、みんな気軽に声をかけてくれ、自然と輪のなかに入っていききました。

妻も平成十六年から簡易郵便局をお世話していただき、地域の方々に可愛がってもらっています。今では妻の方が顔が広くらいです。

保育所、小学校の保護者会も沢山の方と出会え、家



後長さんの家族



動物園で

族ぐるみの付き合いをさせてもらっています。

昨年三人目の子どもに恵まれ、家のなかも一段とにぎやかになりました。

自分が生まれ育った土地、大きくなっていく子どもたち。自分が子どもの頃とはいろいろなことが変わってきていますが、自然と人の温かみあふれるこの土地で多くの事を学んでほしいと思います。

## 島根県町村議会 議員研修会

十月一日、松江市「タウンプラザしまね」で県内十三町村の町村議会議員が一同に会した研修会が行われました。

研修会では牧瀬 稔（財）地域開発研究所研究員の、「議員が提案する政策条例のポイント」と題し、午後からは板垣英憲政治経済評論家の「マスコミにでない政治経済の裏話」と題し講演がありました。

急速な社会情勢の変化に対応するため、政策立案など地方議会の果たすべき役割と今後の議会の活性化に向け、実のある研修となりました。



## 編集後記

大河ドラマ「篤姫」を視聴しているが、最近にない傑作だ。

激動の明治維新より一四〇年が経過しているが、その時代に生きた篤姫を通して、時代の苦悩、日本人の世界観、エネルギーシユな人間像が今求められる、国家観とラップして面白い。

麻生太郎総理と小沢一郎民主党代表との政策論争も、既存の国会ルールを破った所信表明、質問がなされ変革の時代の到来を告げている。

さて、九月定例会は、八人の議員が一般質問に立ち、その内四人が農業、農村の厳しい現状視點にたち、論戦を行った。

また、会期中にJA雲南の志々、赤名、谷地区の三箇所の出張所廃止についての協議もあり、まさに農村の正念場だ。

地域の生活をまもる立場であったJAが、自らの組織をまもるため足きりを行い、その使命を失っていくところとしている。

地域の生活をまもるための、真の生活協同組合を樹立していく視點が今後議会での大きなテーマと考えられます。

議会広報編集委員会

（本田 哲三）